

リニアテクノロジー、新製品「LTM4676」を販売開始

パワー・システム・マネジメント機能付きデュアル 13A μ Module レギュレータ

リニアテクノロジー株式会社は、パワー・システム・マネジメント機能を備えたデュアル 13A またはシングル 26A μ Module[®] (マイクロモジュール) 降圧 DC/DC レギュレータ「[LTM[®]4676](http://www.linear-tech.co.jp/product/LTM4676)」を販売開始しました。LTM4676 は $-40^{\circ}\text{C} \sim +125^{\circ}\text{C}$ の動作温度範囲で仕様が規定され、16mm x 16mm x 5.01mm BGA パッケージで供給されます。1,000 個時の参考単価は 33.55 ドルからで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。また、LTM4676 の性能評価用に LTpowerPlay[™] GUI (無料でダウンロード可能)、USB-PMBus コンバータ、デモキットをご用意しています。製品の詳細情報はリニアテクノロジーの Web サイトをご参照ください (www.linear-tech.co.jp/product/LTM4676)。

LTM4676 のパワー・システム・マネジメント機能により、システム設計者や遠隔オペレータはシステムの電力状態や消費電力を設定および監視することができます。電源パラメータをデジタルで変更可能なため、従来と異なりハードウェア、回路、システム部品などの設計変更が不要となり、製品化までの開発期間が短縮されます。LTM4676 は試作、展開、およびフィールドで動作時のシステムの特性評価、最適化、データマイニングを簡素化、光伝送システム、データコムやテレコムのスイッチやルータ、産業用テスト装置、ロボット、RAID のほか、電気設備、冷却、保守費用が重視される産業用システムに最適です。

LTM4676 はポイント・オブ・ロード (PoL) への電力供給に加えて、PMBus を介して、DC/DC コンバータのパラメータの設定や遠隔モニタが可能です。2 線式シリアル・インタフェースにより、遅延時間をコントロールしてのシーケンシング、出力のマージニング、調整を行うことができます。また、プログラム可能なスルーレートを、立ち上がり立ち下がり時の傾きを自由にコントロールできます。入力及び出力の電流および電圧、出力電力、温度、稼働時間、ピーク値は読み取り・記録可能です。LTM4676 は 2 つの高速アナログ制御ループ、高精度混合信号回路、EEPROM、パワー MOSFET、インダクタ及びサポート部品で構成されます。

LTM4676 は全温度範囲で最大 DC 出力誤差が $\pm 1\%$ 、電流読み取り精度が $\pm 2.5\%$ で、16 ビット・デルタシグマ ADC と EEPROM を内蔵し、アナログ・スイッチング・レギュレータとしてクラス最高の性能と高精度の混合信号データ収集を実現します。LTM4676 は 4.5V \sim 26.5V の入力電源で動作し、入力電圧を 0.5V \sim 5.4V の 2 つの出力に降圧します。2 つのチャンネルで電流を分担できるので、最大 26A (1 出力あたり 13A) を供給可能です。4 個までの LTM4676 をマルチフェーズにできるので、最大 100A の出力電流を分担できます。起動時に、出力電圧、スイッチング周波数、チャンネルの位相角をピン配線で値が決まる抵抗によって設定できます。

LTM4676 の主な特長:

- 高速アナログ制御ループとパワー・システム・マネジメント機能を兼ね備えたデュアル 13A またはシングル 26A μ Module レギュレータ
- 電流読み取り精度: $\pm 2.5\%$ 、最大 DC 出力電圧誤差: $\pm 1\%$ (全温度範囲)

- 16 x 16 x 5.01mm BGA パッケージにインダクタ、パワー-MOSFET、DC/DC コンバータ、データ収集システム、EEPROM を搭載

読み取り可能なデータ:

- 温度、入力電圧、出力電圧、入力電流、および出力電流
- ピーク値、フォルト、および警告
- フォルト・ログ記録

書き込み可能なデータ:

- 出力電圧、電圧シーケンシングおよびマーキング
- デジタル・ソフトスタート/ストップによるランプ制御
- 過電圧、低電圧、過熱、警告およびフォルトの限界値、スイッチング周波数、および位相調整

フォトキャプション: デジタル・シリアル・インタフェース付きデュアル 13A μ Module[®] レギュレータ

Copyright: 2013 Linear Technology Corporation

###

リニアテクノロジーについて

S&P 500 の一員であるリニアテクノロジーは、過去 30 年にわたり広範囲に渡る高性能アナログ IC の設計・製造及びマーケティング活動を行い、世界中の多くの企業に提供しています。リニアテクノロジーの半導体は、私たちのアナログ世界と「通信」、「ネットワーキング」、「産業」、「自動車」、「コンピュータ」、「医療」、「精密機器」、「民生」さらには「軍需航空宇宙」システムで幅広く使用されている、デジタル・エレクトロニクスとの架け橋の役目を担っています。リニアテクノロジーは、パワー・マネジメント、データ変換、信号調整、RF、インタフェース、 μ Module サブシステム及びワイヤレス・センサー・ネットワーク製品を設計・製造・販売しています。詳細は同社 Web サイトをご参照ください。

<http://www.linear-tech.co.jp>

LT, LTC, LTM, Burst Mode, μ Module, Over-the-Top, LTP 及び会社ロゴは Linear Technology Corporation の登録商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。記載内容は予告なしに変更される場合があります。

メディアの方お問い合わせ先:

ミアキス・アソシエイツ 河西 (かさい)

Email: linear-pr@miacis.com

記事掲載時お問合せ先:

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-6 紀尾井町パークビル 8F

リニアテクノロジー株式会社 TEL: 03-5226-7291 (代表)

<http://www.linear-tech.jp>

本社メディア担当者

John Hamburger, Director Marketing Communications

jhamburger@linear.com 408-432-1900 ext 2419

Doug Dickinson, Media Relations Manager

ddickinson@linear.com 408-432-1900 ext 2233

以上